

## 高校生奉仕サークルの報告会

# 住民の笑顔に充実感



画面越しに活動を報告する八鍬飛陽さん（右）と佐藤秋香さん  
＝鮭川村中央公民館

鮭川村の高校生奉仕サークル「SAKKEKKO」の活動報告会が3日、同村中央公民館と鮭川中をオンラインでつないで開かれた。地域の催しや、清掃ボランティアに取り組んだ中心メンバー2人がパソコンに向かい、後輩に当たる同

校の生徒たちに活動を通して得られた充実感などを語った。

同サークルは本年度、5人で活動。進学や就職を機に、この春で4人がサークルを離れる。新たな仲間を加え、41年続いている活動を次の世代につなごうと今回初めて報告会を開いた。

会長として仲間を引っ張ってきた八鍬飛陽さん(18)は、地域のイベントで披露したバルーンアートについて紹介。「最初は苦手だったが、今では得意になった。イベントでお客さんが笑顔で帰っていく姿を見て、充実感を味わうことができた」と語った。副会長の佐藤秋香さん(18)は「活動を通して周りの人と考え方を共有し、視野を広げられたように感じ

る」と振り返り、「新しいことにたくさん挑戦してほしい」と後輩にエールを送った。

中学校の校舎で3年生21人が話を聞いた。「ものづくりが好きなので参加してみたい」と話した堀米聖さん(15)は、先輩の報告に刺激を受けていた。(土屋隆)